

令和6年度（2025年3月期）

# 事業計画書

（2024年4月1日から、2025年3月31日まで）

令和6年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の主要事業計画を下記の通り策定し、推進を図ることとします。

## 記

### 1. 公益事業支出： 予算 11,681 千円

（2024年3月期通期見込比 <以下「2023年度比」> +1,715千円）

令和6年（2024年）度の公益事業は、機関誌『タイ国情報』の発行、書籍刊行、講演会開催、日本語書籍寄贈、図書館運営の5事業を実施し、これら公益事業への支出を合計 11,681千円（2023年度比 +1,715千円） とする計画です。個別の事業計画は、以下の通りです。

#### （1）機関誌『タイ国情報』の発行： 予算 5,501 千円（2023年度比+566千円）

① 世界銀行は12月、2023年のタイの経済成長率見通しを10月に発表した3.4%から2.5%に引き下げた。同じく2024年予測も、10月の3.5%から3.2%に引き下げた。タイ政府が計画する給付金1万バーツ政策は、実施されれば2024年～2025年の成長率を0.5～1.0%押し上げると推算。アジア開発銀行（ADB）も同じく、12月発表のレポートの中でタイの2023年見通しを前回の3.5%から2.5%に引き下げた。ADBは、輸出額の減少や、予算編成が遅れたことによる財政不安を下方修正の理由にあげた。

年度	平均ページ数	直接費用（千円）
2018年度	132	3,805
2019年度	107	3,088
2020年度	119	2,961
2021年度	122	2,981
2022年度	134	3,324
2023年度	137	3,414
2024年度	135	3,500

（注）直接費用 = 印刷製本費+諸謝金+通信運搬費  
23年度は着見通し、24年度は予想

② タイの政治は2023年5月に総選挙が実施され、改革を主張する前進党が第1党となりました。首相選出は、軍事政権が任命した上院も加わることで難航し、プアタイ党が親軍政党と連立を組むことにより、8月によりやくプアタイ党のセター首相が誕生しました。第1党の前進党が排除されたことから、有権者の不満は大きく、今後の動向に注視する必要があります。また、海外で長い間逃亡生活にあったタクシン元首相がこのタイミングで帰国しています。

③ 社会面では、昨年12月、タイ正月を祝う伝統行事「ソン克蘭」（水かけ祭り）が国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に登録されることが決まりました。タイに関連する無形文化遺産はタイ仮面劇「コーン」（2018年）、タイ古式マッ

サージ(2019年)、タイ南部伝統舞踊「ノーラー舞踊」(2021年)に続く4件目です。

- ④ 2023年度はタイの少数民族、教育制度等、新たな研究者に執筆いただきました。また、『タイ日大辞典』の出版にあたり、編者である赤木先生に刊行覚書と題してご寄稿を賜りました。2024年度も、タイの政治、経済、社会から文化、生活に至るまで、幅広い内容を採り上げ、読者のニーズに応えられるよう、記事の質の向上を目指します。新たなテーマ、執筆者の発掘を継続します。
- ⑤ 引き続き、研究活動において参照される機会が増加するよう、大学などの研究室・研究機関へ納本(合計150カ所程度)して参りました。書店を通じて、一般の方々への有料配布も継続して参ります。

(2) 書籍刊行事業： 予算 942千円 (2023年度比 +168千円)

2023年度の書籍刊行実績はありませんでした。書籍刊行直接費用として今期も300千円を計上しますが、茲許、東南アジア関連の出版社により刊行するケースが太宗であることから、今後、当協会が出版元となる刊行事業の継続については見直しを行う状況にあります。

(3) 講演会・セミナー事業： 予算 1,388千円 (2023年度比 +217千円)

2023年度は、これまで以下の内容で計3回の講演会を開催しています。3月に4回目(テーマ：タイのデザイン)を計画しています。

2023年4月18日(火)

郵便学者

内藤 陽介 氏

【講演テーマ】「切手で語るタイの歴史」

2023年7月24日(月)

筑波大学 人文社会系准教授

外山 文子 氏

【講演テーマ】「岐路に立つタイ政治—変動と今後の行方」

2023年10月19日(木)

広島大学 大学院人間社会科学研究科 准教授

牧 貴愛 氏

【講演テーマ】「タイの学校教育の現状と課題」

2024年度も、タイの政治・経済・社会・文化に関するタイムリーなテーマにて開催する予定です。

(4) 日本語書籍寄贈事業： 予算 1,393千円 (2023年度比 +543千円)

2023年度は、タイへの渡航はかありませんでしたが、現地の国際交流基金バンコク

日本文化センターから、日本語パートナーズ教員が派遣されているタイ各地の学校 30 校に日本語書籍を寄贈しました。

2024 度につきましては、引き続き、現地からのお声をふまえて実施する計画です。

(5) 図書館運営事業： 予算 2,255 千円 (2023 年度比 +263 千円)

当協会図書館は、2008 年 4 月に戦前からの古い蔵書を含め、約 500 冊でスタートし、協会役員や会員、一般の方などからの多数のご寄贈、書籍の購入などにより、2018 年 12 月末には約 5,800 冊の規模でしたが、事務所の移転を契機に、タイに関係のない書籍や痛んだ書籍の整理を進め、2023 年 12 月末時点では約 3,400 冊になりました。研究者の方が、資料の相談のため来訪されています。2024 年度は新刊本の購入などにより引き続き内容を充実させる予定ですが、所蔵スペースに限りがあることから、内容は厳選して対応する方針です。

(6) 公益共通： 予算 203 千円 (2023 年度比 ▲41 千円)

引き続きホームページを通じ、当協会の活動状況、『タイ国情報』の目次、講演会・セミナーの案内、日本語書籍寄贈事業の実施報告、図書館所蔵書籍リストなどを提供して参ります。

2. その他事業支出： 予算 1,048 千円 (2023 年度比 ▲687 千円)

親睦行事： 予算 1,048 千円 (2023 年度比 ▲687 千円)

2024 年度は、タイ王国大使館と共催している「納涼の夕べ」について予算計上します。費用の観点から、過去実績を参考に 500 千円 (2019 年度実績 414 千円) で計画しています。

また、大阪外国語大学名誉教授の赤木先生が手掛けるタイ日大辞典が 2023 年 6 月に出版され、日本国内およびタイの大学、研究機関等に寄贈を開始。2023 年度で 60 冊・1,680 千円の予算を計上。消費税込みでは 1,848 千円 (60 冊) となりますが、寄贈 (支出) 状況によっては、2024 年度 (令和 6 年度) に持ち越して支出する方針です。(2023 年 12 月末現在 寄贈冊数 42 冊)

3. 管理費 (法人会計)： 予算 3,680 千円 (2023 年度比 +187 千円)

三井住友銀行からの派遣職員 2 名体制が、11 月より 1 名体制になったことで、2023 年度は 400 千円 (80 千円×5 カ月) の費用減少要因となりました。2024 年度は 2 名体制に戻ることを前提に予算を計上しました。

派遣職員給与 (1 名) について、2023 年度は週 2~3 日の勤務となりましたが、予算では週 3 日を仮定し、計上しています。人材派遣会社より物価上昇反映のため、2023 年度に 3%程度の時給引き上げ。2024 年度は人材派遣会社との話し合いで据え置きとなっています。

4. 収支予算について

(1) 経常収益： 予算 13,700 千円 (2023 年度比 ▲370 千円)

引き続き経常収益の 90%以上を受取会費で賄う計画です。2023 年 12 月末現在の会員数は、法人会員 89 社 (2023 年 3 月末比▲4 社)、個人会員 94 名 (同 ▲3 名) とな

っています。引き続き会員の勧誘に注力して参ります。経常収益は、法人会員について、2023年度まで会費納入後退会された会員分をマイナス勘案後、横ばいとして計画しております。個人会員につきましては、こちらも会員数はほぼ横ばい計画としております。

(2) 経常費用： 予算 16,408 千円 (2023年度比 +1,216 千円)

コロナ後タイの渡航できていないことから、日本語書籍寄贈に伴うタイへの渡航調査等を上乘せした計画とします。

公益事業支出は 11,681 千円 (2023年度比+1,715 千円)、その他事業支出は 1,048 千円 (同 +687 千円)、管理費支出 (法人会計) は 3,680 千円 (同 +187 千円) と、経常費用全体で 16,408 千円 (同 +1,216 千円) とする計画です。従って、2024年度の当期経常増減額は▲2,707 円と支出超の計画です。

5. 財務会計に関する数値基準について

(1) 収支相償

- ① 公益目的事業の収支相償： 基準を充足する計画です。
- ② 公益目的事業会計全体の収支相償： 基準を充足する計画です。

(2) 公益目的事業比率： <2024年度計画> 71.1% (2023年度比+5.6ポイント)

基準 (50%以上) を充足するよう、引き続き、高い公益意識をもって、事業の運営を行なう所存です。

(3) 遊休財産上限額

コロナ禍もあり、数年間事業が計画通り実施できなかった過去の影響で、前期においても、遊休財産 (預金) が上限額を超えておりますが、引き続き、着実に事業を実施し、遊休財産<遊休財産上限額 (=公益目的事業費相当額) となるよう運営する所存です。

以上

## 令和6年度(2025年3月期) 収支予算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

[単位:円]

科 目	<A>	<B>	<C>		備考
	令和6年度 予算	令和5年度 実績見込	差異 <A-B>	令和5年度 予算	
1 I 一般正味財産増減の部					
2 1. 経常増減の部					
3 (1) 経常収益					
4 ①基本財産運用益	380	380	0	380	0
5 基本財産受取利息	380	380	0	380	0
6 ②受取会費	13,630,000	13,830,000	▲ 200,000	14,810,000	▲ 1,180,000
7 賛助会員受取会費	13,630,000	13,830,000	▲ 200,000	14,810,000	▲ 1,180,000
8 ③事業収益	70,000	70,900	▲ 900	50,000	20,000
9 機関誌発行・書籍発行事業	70,000	70,900	▲ 900	50,000	20,000
10 講演会・セミナー事業		0	0	0	0
11 図書館運営事業、他	0	0	0	0	0
12 ④雑収益	200	200	0	200	0
13 雑収入	0	0	0	0	0
14 受取利息	200	200	0	200	0
15 ⑤受取寄附金	0	170,000	▲ 170,000	170,000	▲ 170,000
16 指定正味財産からの振替	0	170,000	▲ 170,000	170,000	▲ 170,000
17 経常収益計	13,700,580	14,071,480	▲ 370,900	15,030,580	▲ 1,330,000
18 (2) 経常費用					
19 <公益事業>	11,680,497	9,965,333	1,715,164	11,663,140	17,357
20 機関誌発行・復刻事業/公1	5,500,466	4,934,732	565,734	5,403,377	97,089
21 書籍刊行事業/公2	941,785	773,842	167,943	939,755	2,030
22 講演会・セミナー事業/公3	1,387,866	1,171,253	216,613	1,393,837	▲ 5,971
23 日本語書籍寄贈事業/公4	1,392,985	850,206	542,779	1,484,955	▲ 91,970
24 図書館運営事業/公5	2,254,895	1,991,870	263,025	2,222,716	32,179
25 公益事業共通	202,500	243,430	▲ 40,930	218,500	▲ 16,000
26					
27 <その他事業>	1,047,649	1,734,185	▲ 686,536	2,539,649	▲ 1,492,000
28 親睦事業	1,047,649	1,734,185	▲ 686,536	2,539,649	▲ 1,492,000
29					
30 <法人会計(管理費)>	3,679,708	3,493,010	186,698	3,704,471	▲ 24,763
31					
32 経常費用計	16,407,854	15,192,528	1,215,326	17,907,260	▲ 1,499,406
33 評価損益等計	0	0	0	0	0
34 当期経常増減額	▲ 2,707,274	▲ 1,121,048	▲ 1,586,226	▲ 2,876,680	169,406
35 2. 経常外増減の部			0		0
36 (1) 経常外収益	0	0	0	0	0
37 資産評価益	0	0	0	0	0
38 (2) 経常外費用	0	0	0	0	0
39 資産除却損	0	0	0	0	0
40 当期経常外増減額	0	0	0	0	0
41 当期一般正味財産増減額	▲ 2,707,274	▲ 1,121,048	▲ 1,586,226	▲ 2,876,680	169,406
42 一般正味財産期首残高	38,877,047	39,998,095	▲ 1,121,048	40,197,985	▲ 1,320,938
43 一般正味財産期末残高	36,169,773	38,877,047	▲ 2,707,274	37,321,305	▲ 1,151,532
44 II 指定正味財産増減の部			0		0
45 使途指定特別寄附金	0	170,000	▲ 170,000	170,000	▲ 170,000
46 一般正味財産への振替額	0	170,000	▲ 170,000	170,000	▲ 170,000
47 当期指定正味財産増減額	0	▲ 170,000	170,000	▲ 170,000	170,000
48 指定正味財産期首残高	0	170,000	▲ 170,000	170,000	▲ 170,000
49 指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
50 III 正味財産期末残高	36,169,773	38,877,047	▲ 2,707,274	37,321,305	▲ 1,151,532

令和6年度（2025年3月期）収支予算書（事業別内訳表）

（2024年4月1日 から 2025年3月31日まで）

公益財団法人日本サイ協会  
単位：円

科	目	公益目的事業					その他事業		法人会計 (管理費)	(A) 合計	(B) 6年3月期前次 期見込	差異 (A-B)	(C) 6年3月期通期予 算	差異 (A-C)
		公1 (機関誌)	公2 (同行)	公3 (講演会)	公4 (寄附)	公5 (図書部)	公益共通	公益小計						
1	I 一般正味財産増減の部													
2	1. 経常増減の部													
3	(1) 経常収益													
4	① 基本財産運用益													
5	基本財産受取利息													
6	② 受取利息													
7	貸付金受取利息													
8	③ 事業収益													
9	機関誌発行・書籍発行事業													
10	講演会・セミナー事業													
11	④ 雑収益													
12	雑収入													
13	受取利息													
14	⑤ 受取借入金													
15	指定正味財産からの振替額													
16	雑収益													
17	雑収益													
18	(2) 経常費用													
19	印刷製本費													
20	管理費													
21	刊行物購入費													
22	雑損失													
23	通信運搬費													
24	庶務費													
25	消耗品費													
26	ペーパー費													
27	会議費													
28	会費													
29	大会旅行旅費													
30	雑支出													
31	臨時支出													
32	支払手数料													
33	賃借料													
34	光熱水料費													
35	印刷費													
36	租税公課													
37	消耗什器備品費													
38	減価償却費													
39	役員報酬													
40	給与・賞与													
41	通勤手当													
42	社会保険料													
43	福利厚生費													
44	経常費用計													
45	評価損益等計													
46	評価損益等計													
47	当期経常増減額													
48	(1) 経常外増減の部													
49	貸渡損益													
50	貸渡損益													
51	(2) 経常外費用													
52	当期経常外増減額													
53	一般正味財産増減額													
54	一般正味財産増減額													
55	一般正味財産期末残高													
56	II 指定正味財産増減の部													
57	指定正味財産特別増減額													
58	指定正味財産への振替額													
59	当期指定正味財産増減額													
60	指定正味財産期末残高													
61	III 正味財産期末残高													
62	正味財産期末残高													

令和6年度通期予算	16,407,854	11,680,496	71.19%
6年3月期前次見込	17,000,000	11,680,496	
6年3月期通期予算	16,407,854	11,680,496	71.19%